

弓矢

— 縄文人の開発した飛び道具



縄文人の使った矢じり(塩野下弥堂遺跡 6000年前)



弓をひく縄文人
イラスト:安芸早穂子

三角形、ハート形、鋭いきつ先、さまざまな形をした矢じりは、弓矢の先端にくくりつけられた。この弓という画期的な飛び道具を真つ先に開発したが、縄文人なのである。

御代田町に数多く残された縄文遺跡からは、たくさん矢じりが発見され、縄文人が浅間山麓で弓矢を行っていたことがわかる。ただ、残念ながら、肝心な弓本体や矢柄は何千年という歳月が消し去り、石でできたその先端だけが残された。

長い氷河時代が終わって気候が温暖化し、縄文時代の幕開けとなった約1万年前、日本列島には森が広がった。森の中を駆け回るシカ・イノシシ・ウサギなど敏捷な動物をとらえるには、携行にすぐれ、飛距離と命中力、殺傷力のある狩猟具の開発が必須であった。そんなニーズの中から弓矢は生まれるべくして生まれたのであった。

それまでは、投げ槍や突き槍などで狩りを行っていた人びとの暮らしは、弓矢の登場によって飛躍的に進歩した。

その後、弓矢は狩猟具から戦闘具にその性格を変え、鉄砲が登場する中世まで、飛び道具としての主役の座にいたのであった。

(広告欄)

**暖かいご支援を
よろしくお願ひします**

東日本大震災が発生してから一年以上が経ちます。でも、皆さんも存知のように、被災地の復興、復旧は進んでいないのが実情です。

そのため、大井建設では全国の仲間と協力して、定期的に救援物資を送っています。

しかし、最近では救援物資の問い合わせが少なくなってきました。そこで改めてご支援をお願ひしたいと思ひます。

救援物資としては

- レトルトの丼ぶりもの他
(牛丼、中華丼、親子丼など)
- インスタント食品
(カップラーメン、うどんなど)
- 子ども用お菓子
などが必要です。

最近、警戒区域の解除などのニュース報道もありますが、まだまだ支援が必要です。皆様の暖かいご協力をよろしくお願ひします。

大井建設工業(株) 大井康史

前回の救援物資を送った時の写真

今、必要な物資はコチラ
<http://www.psm311.com>

お問合わせは今すぐ 大井建設ホームページアドレス www.kosodate-aien.com

0120-33-4152
メールの方は vip@ooi-kensetsu.co.jp
FAXの方は 0267-32-2935

大井建設工業株式会社
子育て世代の安くていい家 専門店 株式会社
■本社 御代田町馬瀬口1670-74 TEL0267-32-3333(代)
©ISO 9001 認証取得